

市長提案説明要旨

平成29年12月1日

本日ここに平成29年第4回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などの説明を申し上げます。

《はじめに》

J1リーグで首位に立っている我らが鹿島アントラーズは、明日の最終節で、2年連続9回目となる優勝をかけて、敵地ヤマハスタジアムでジュビロ磐田戦に臨みます。

同時刻にキックオフされる2位の川崎フロンターレの結果の如何を問わず、自力優勝に向けて、勝利あるのみです。

皆様の記憶にも新しいと思いますが、昨年 of Jリーグチャンピオンシップでの年間勝ち点3位からの奇跡の逆転優勝など、我らが鹿島アントラーズは、圧倒的な勝負強さを発揮し、数々の輝かしい成果を収めてまいりました。

明日のジュビロ磐田戦においても、チーム一丸となり、ここぞという場面での持ち前の勝負強さを存分に発揮され、優勝の栄冠を勝ち取っていただきたいと思っております。

アントラーズの優勝に向けて、皆様の熱い声援をお願いします。

(国内情勢等)

次に、国内の社会経済情勢であります。

先般の衆議院議員総選挙の結果を受け、第4次安倍内閣が発足しました。

安倍総理大臣は、先月17日の所信表明演説において、国難として取り組む重点課題として、少子高齢化と北朝鮮情勢を掲げております。

少子高齢化対策としては、「今こそ、最大の課題である少子高齢化の克服に向けて、力強く踏み出す時だ」と述べ、人材への投資など生産性を飛躍的に向上させる「生産性革命」と、幼児教育の無償化などの「人づくり革命」を推進し、そのうえで、子育て世代の支援の財源として消費税増税分の使途見直しを改めて表明しました。

国内の経済情勢については、11月の月例経済報告によりますと、景気の基調判断を「緩やかな回復基調が続いている」とし、6カ月連続で据え置きました。

先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復していく」としており、切れ目のない財政運営により、地方経済を含めて、確実な成長軌道に乗せていくことが期待されます。

《事業の概要等》

続いて、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

(スポーツでつながるまちづくり)

茨城国体及び東京オリンピックに向けては、施設整備とともに、機運醸成などの取り組みを進めております。

茨城国体のPR活動や国体ダンスの普及などを行うため、小学生から高校生までの笑顔と元気いっぱいの27人で「KASHIMAキッズダンス応援隊」が立ち上がり、今月8日に大野ふれあいセンターで、レッスンの成果を初披露します。

今後も様々なイベントなどで、茨城国体鹿嶋市開催のPR活動にご活躍いただきます。

東京オリンピック開催まで、あと966日です。

10月21日、鹿嶋まつりのメインステージで、鹿嶋高校と鹿嶋学園高校のサッカー部員などにも参加いただき、オリンピック開催までの日数を知らせる「カウントダウンボード」の除幕式を行いました。ボードは市役所に設置し、市民の皆様にお知らせしているところです。

現在、大会成功とオリンピック開催を契機にしたまちづくりに向けての基本方針の取りまとめを行っておりますが、子どもたちが夢と希望を持ち、賑わいと活力を生み出し、本市が持続的に発展することを目指し、市民との共創により取り組みを推進してまいります。

(未来を創るひとづくり・まちづくり)

結婚を希望する男女の出会いや交流の場の提供、結婚に対する意識の醸成など、周辺自治体などと連携を図りながら、結婚の環境づくりを進めております。

9月17日のスイーツをテーマにした婚活イベントでは、11組のカップルが誕生しました。また、今月17日には、近隣自治体と連携し、クリスマスにちなんだ婚活イベントの開催、来月には、独身の子どもを持つ親御さんを対象としたセミナーなども企画しております。

本市においても婚姻数が減少傾向にあり、このことが自ずと出生数にも影響が出てきております。

今後も、地域の皆様にもご協力をいただきながら、結婚活動への支援を広げる取り組みを進めてまいります。

高松小中一貫校については、平成30年4月開校に向けて、両小中学校の教職員を中心に、着々と準備が進められております。

目指すべき子ども像を「夢に向かい、力強く未来を切り拓く、自立した児童生

徒」とし、英語教育やキャリア教育の推進をはじめ、9年間を見据えた学習指導や生徒指導、特別支援教育、交流・体験活動などの充実を図ってまいります。

小中学校が隣接している特長を最大限に生かし、9年間連続した学びの中で「確かな学力」と「豊かな人間性」を育ててまいります。

身近な地域での文化芸術活動を通じた世代を超えた市民交流は、市民の連帯を深め、郷土愛を育む土壌にもつながると考えております。

今月10日、第3回目となる「鹿嶋市第九交響曲コンサート」が鹿嶋勤労文化会館で開催されます。

世代を超え、「皆で歓喜の歌を歌いたい」という一つの目標に集まった市民合唱団は、7月23日の結成以来、練習を重ね、総仕上げの段階を迎えております。

市民の皆様には、ぜひコンサート会場にご来場いただき、歓びに満ちた年末年始をお迎えいただきたいと思っております。

(地域資源を生かしたまちづくり)

本市の一大イベントである「第27回鹿嶋まつり」と「みんなのひろば」は、台風21号の接近に伴い、10月21日のみの開催となってしまいました。

鹿嶋まつりでは、盛りだくさんのステージイベントや出店、そして新たな試みとしての子どもたちのお仕事体験「かしまちワーク」を企画し、みんなの広場では、福祉体験などのイベントのほか、新たにフードドライブを実施するなど、例年にも増しての盛り上がりを目指したところであります。

悪天候に見舞われながらも、市内外から多くの皆様にご来場いただき、楽しんでいただけたことと思っております。

開催に当たりご尽力いただきました関係者の皆様方に、深く感謝申し上げます。

本市の玄関口となる鹿島神宮駅周辺において、約8万球の電球による鮮やかなイルミネーションで賑わいを創出する「KASHIMA 光のアート・ギャラリー」を、今月8日から来月8日にかけて開催します。22日にはクリスマスコンサートなども計画しておりますので、多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

うれしい話題としまして、JR東日本が今年5月から周遊運行を開始した豪華寝台列車「トランススイート四季島」の年末年始コースに、鹿島神宮の初詣が選ばれ、元日に鹿島神宮駅に立ち寄ります。

市としましても、私が先頭となり、訪れる皆様が心に残るおもてなしや本市の悠久の歴史や魅力のPRに努めてまいります。

鹿嶋には美味しい食材がたくさんあり、この美味しさを多くの方に知っていただきたいと常々思っているところです。

今回、初の試みとして、市内の飲食店で、鹿嶋産の素材を使ったさまざまなメニューを提供する「食のフェア かしま食べ物語」が開催されました。

第1弾として、11月15日から26日にかけて、市内11店舗で、国内トップクラスの生産量を誇り、旬の「鹿嶋産きくらげ」を素材に、鹿嶋限定メニューが提供され、多くの方に楽しんでいただいたと伺っております。

こうした地元食材を使ったメニューの開発など、商店街活性化に向けた取り組みに期待しております。

美味しい鹿嶋市産米をより多くの方に食べていただこうと、JAしおさいと連携し、恒例となっているJAしおさい農産物直売所での新米祭りに続き、初の試みとして、9月30日と10月1日にはショッピングセンターチェリオで、11月25日には鹿島地方公設卸売市場の市場まつりにおいて、移動販売会を行いました。

「手軽に地元のお米を買える場所が少ない」といった声も聞かれましたので、こうした消費者の率直なご意見などを踏まえながら、鹿嶋市産米の普及に努めてまいります。

今月17日、鹿島灘漁業協同組合魚市場において、冬の一大イベントとなりました「鹿島灘はまぐり祭り」を開催します。

今年度は、はまぐりの他、地元ホッキ貝のPRとして、「ホッキ貝料理コンクール」を企画しました。

コンクールでは、テレビ番組でもお馴染みのフレンチの鉄人「坂井 宏行シェフ」を特別審査員としてお迎えし、一般来場者とともに審査していただきます。

飲食店の注目度も高いと伺っておりますが、趣向を凝らしたどんな料理が披露されるのか、今から楽しみにしております。

この他、「鹿島灘はまぐり」の格安販売をはじめ、人気のバーベキューコーナーや体験乗船など企画が盛りだくさんですので、多くの皆様にご来場いただき、楽しんでいただきたいと思います。

移住・定住に関する取り組みについては、9月27日、総務省が地方への移住支援の窓口として東京駅近くに設置した「移住・情報交流ガーデン」において、「鹿嶋市移住・就職相談会」を開催しました。

参加企業12社に対し来場者21名、延べ32件の相談があり、Uターンで1名の就職が決まったと聞いております。

次回の移住・就職相談会は、3月上旬に都内での開催を予定しており、引き続き、鹿嶋市での就労と移住の支援を図ってまいります。

今月7日、市保健センターにおいて、ハローワークとの共催により、「働きたいママ達の就職応援セミナー（入門編）」を開催します。

本セミナーは、今年2月に締結した茨城労働局との協定に基づく取り組みとして、就職に向けた事前準備や市内の保育状況について情報提供し、仕事と家庭の両立を図る女性を支援していきたいと考えております。

（市民と共に創るまちづくり）

男女がともに、仕事や家庭、地域における活動に参画し、活躍できる社会の実現には、一人ひとりが男女共同参画を身近な問題として関心を持ち、行動に移せるよう、学びが必要であります。

今年で3回目の開催となった「鹿嶋市女子フェスタ」については、10月28日、スポーツセンターを会場に、「女性の健康とスポーツ」をテーマに、スポーツフェスタと同時に開催しました。

1,300人を超える幅広い世代の方にご来場いただき、セミナーやスポーツワークショップ、マルシェなど大いに盛り上がりを見せておりました。

今後も女性の活躍の推進に向けて、学習機会の提供など様々な施策を展開してまいります。

また、来月26日には、鹿島高校の2年生を対象に、「高校生のためのライフプランニング講座」を開催します。

就職のみならず結婚、出産、育児などのライフイベントを早い段階から自分自身のことと捉え、男女共同参画の視点に立った、より良い人生設計を描いてもらう機会になればと考えております。

（住んで安心のまちづくり）

深刻な医師不足の解消に向けて、茨城県及び鹿行南部地域の各市と連携し、不足する診療科医師の確保支援事業を推進しております。

平成22年の制度開始以来、これまで22名の常勤医師が採用され、うち15名が現在も市内医療機関で活躍されています。

市民の皆様が安心して適切な医療を受けられるよう、今後も関係機関と連携を図りながら、医療体制の強化を図ってまいります。

市民一人ひとりが生活習慣と向き合い、自ら健康づくりに取り組む意識を高めることが大切であります。

本市の平成28年度の特定健康診査の受診率は35.7%で微増傾向にありますが、目標値の60%には及ばない状況です。

これまで、未受診者を含め対象者の方には、個別通知により受診の勧奨を行ってまいりましたが、より身近なところで受診できるよう、来月21日の特定健康

診査は、ショッピングセンターチェリオで実施することとしました。

特定健康診査の受診率の向上を図り、生活習慣病などの早期予防や健康寿命の延伸につなげてまいりたいと考えております。

10月29日、高松公民館を会場に、茨城県沖を震源とする震度6弱の地震発生を想定した「高松地区避難所運営訓練」を実施しました。

同時に屋外で開催を予定していた高松地区総合防災訓練は、悪天候のため中止となりましたが、避難所運営訓練には、地区住民や高松小学校・高松中学校の児童生徒、消防団、消防署のほか、鹿島中学校の生徒にも運営ボランティアのスタッフとして加わっていただくなど、約500人が参加されました。

参加された皆様は、災害発生時の実際の動きを想定した、避難所の運営方法や段ボールベッドの作成、応急救護訓練などに、真剣に取り組んでおられました。

今月16日には、鹿嶋市自警団連絡協議会の主催による「第12回安全・安心まちづくり鹿嶋市民大会」が市役所駐車場で開催されます。

地域や警察、自警団の皆様などと一層の連携を図り、市民の防犯意識を高め、安全で安心して生活できる地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。

(自立した信頼のあるまち)

現在、国県の予算編成方針や経済財政対策の動向などを注視しながら、新年度の予算編成を進めております。

市の財政運営は、国の社会保障制度改革や子育て支援施策、茨城国体・オリンピックに向けた施設整備、公共施設の老朽化対策などが見込まれ、厳しい状況が続く見通しです。

こうした中、複雑多様化する行政ニーズに柔軟に対応しつつ、各種施策を着実に推進していくためには、作業工程からの事務事業を改善していくことはもとより、持続可能な財政運営が可能となるよう、組織横断的に効率的な政策展開を模索し、業務の効率化と高度化を図ることが肝要であります。

新年度予算においては、第三次鹿嶋市総合計画・後期基本計画をはじめとする各種計画を着実に推進するため、真に必要な事業に対し効果的に予算配分を行い、まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標達成に向け、地方創生の歩みを加速化させるとともに、茨城国体やオリンピックに向けた施設整備などを推進してまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が4件、条例関係議案が4件、人事関係議案が1件、契約関係議案が6件、その他の議案が4件、報告案件が1件、合わせて20件であります。

まず、予算関係議案は、平成29年度の一般会計及び特別会計の補正予算であります。

一般会計補正予算については、ふるさと納税推進事業、障害者関係事務経費、教育・保育施設入所支援事業、生活保護扶助経費、その他の市道整備事業、中学校管理運営事務費などを計上しております。

国民健康保険特別会計補正予算については、保険給付費、共同事業拠出金などを計上しております。

介護保険特別会計補正予算については、保険給付費を計上しております。

公共下水道特別会計補正予算については、既定の歳入歳出予算に増減はありませんが、下水道費を減額し、総務費を計上しております。

条例関係議案は、鹿嶋市下水道事業の設置等に関する条例などであります。

人事関係議案は、鹿嶋市監査委員の選任に当たり、議会の同意を求めるものであります。

契約関係議案は、大野区域屋内温水プール新築工事 建築工事請負契約などについてであります。

その他の議案は、土地開発公社の解散についてなどあります。

報告案件は、衆議院議員総選挙に係る一般会計補正予算の専決処分についてであります。

私の説明は以上で終わりますが、予算以外の議案については、担当の総務部長から補足説明をさせていただきます。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。